

野田ロータリークラブ週報

第2855回例会 (3月13日)

第2848号 2017.3.27 発行

■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(櫛のホール)
〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04(7125)0061 FAX04(7125)0055

会 長: 仲 長 孝
 会長レク: 滝 和 洋
 副 会 長: 茂 木 佐平治
 幹 事: 田 中 鐘 一
 副 幹 事: 古 谷 光 裕
 ■発行責任者: 田 中 秀 和



人類に
奉仕する
ロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016-2017年度 国際ロータリーのテーマ

会 長 挨拶



仲 長 孝 会長

うれしいひなまつり

作詞 山野三郎(サトウハチロー)

作曲 河村直則(河村光陽) (昭和10年作)

- 1 あかりをつけましょ ほんぼりに
お花をあげましょ 桃の花
五人ばやしの 笛太鼓
今日はたのしい ひな祭り

- 2 お内裏様と おひな様
二人ならんで すまし顔
お嫁にいらした ねえさまに
よく似た官女の 白い顔
- 3 金のびょうぶに うつる灯を
かすかにゆする 春の風
すこし白酒 めされたか
赤いお顔の 右大臣
- 4 着物をきかえて 帯しめて
今日はわたしも はれ姿
春のやよいの このよき日
なによりうれしい ひな祭り

都市伝説

「うれしいひなまつり」は誰でも一度は耳にしたことがあると思います。

しかし、この歌の歌詞には題名とは裏腹に、と

でも悲しい意味が込められているようです。

2番のお嫁にいらしたねえさまのこの姉さまは、実はサトウハチローさんのお姉さんの事だといわれています。サトウハチローさんには、18歳で亡くなってしまったお姉さんがいたのです。結婚も決まり、幸せになろうとしていた矢先、結核で他界してしまったそうです。「うれしいひなまつり」はお姉さんに対する鎮魂歌(レクイエム)で、雛人形を見るとお姉さんを思い出して悲しいといった思いもこめられていたようです。

そしてあえて官女の白い肌を、お姉さんと似ていると表現したようです。

この謎をしると、お祝いの歌なのに曲調が少し暗い感じなのがわかるようです。

歌詞の2つの間違い

一つ目の間違いは、2番の歌詞です。

「お内裏様とおひなさま 二人並んで すまし顔」お内裏様をおとこ雛と思っている方が多いと思いますが、お内裏様とは、おとこ雛と女性のひな人形(男女一対)の二人を指しています。ですから2人でなく3人になってしまい「二人並んで」という歌詞は間違っているということになります。

二つ目は3番の歌詞で

「すこし白酒 めされたか あかいお顔の 右大臣」のところ。正しくは、赤い顔に白ひげのほうが「左大臣」、色白の若い方が「右大臣」です。お内裏様から見て左側が上位ということになり年配で赤い顔をしているのが左大臣です。

かつては天子南面日の出の方角、左が上位とされ男雛は向かって右側にいました。時代が下って左遷等の言葉で、左は上位とされなくなり、昭和天皇即位の写真の影響で関東では向かって左側が主流となっています。

そんな間違いが伝わってしまっていることから、サトウハチローさんはあまりこの歌は好きではなかったようです。

第2855回例会

点	鐘	仲長	孝	会長
司	会	東野	久隆	会員
ソ	ン	グ		我等の生業

御誕生祝い



仲長 孝 会長(3月13日)

御結婚祝い



高梨 綾子 会員(3月14日)
東野 久隆 会員(3月15日)

出席 今回分(3月13日分)
会員60名中43名出席(72.88%)

- ・来週3/20(月)は休会です。
- ・3/27(月)は夜間例会 幸楽にて 18時点鐘
- ・4/7(金)ロータリー情報研究会
17時より大師山報恩寺ロータスホール
出欠を3/27の夜間例会でとりますが、欠席の方は事務局まで連絡下さい。ドレスコードはバーベQですので、暖かい服装でお願いします。

委員会報告

(2月27日分)休会

ロータリー情報委員会 中野祐三郎 委員長

ニコニコボックス

仲長 孝 会長
誕生祝いありがとうございます。
高梨 綾子 会員
結婚祝いありがとうございます。
東野 久隆 会員
結婚祝いありがとうございます。
早退4名



情報研究会について
4/7(金)報恩寺ロータスホール

幹事報告

田中 鐘一 幹事



- ・八千代RC創立50周年記念式典のご案内
5/27(土)ホテルニューオータニ幕張
- ・流山中央RC創立30周年記念式典並びに祝賀会のご案内
6/6(火)16時から流山おおたかの森バーンアンドフォレスト148

卓話

菊地 孝則 会員



「私とキューバ」

こんにちは、約2年半前位に初めての卓話の順番が回って来てから、今日が2回目の卓話になります。

ROTARY SERVING HUMANITY

1回目は「私とピアノ」ということでお話したのですが、今回は何を話しようか昨日まで迷いました。

そして今回は「私とキューバ」ということでお話しようかと思います。

1998年私の友人であります日本ラテン音楽協会理事長のアントニオ古賀さんがキューバの当時の国家元首のカストロ議長に会い「日本人のキューバ移民100周年」ということでこの音楽好きな国民のあまりにも楽器のお粗末さに非常に胸を打たれ、ピアノを100台寄贈しようかと約束しました。

キューバでは100台のピアノを入れようとすれば30年は、かかると言われてたみたいで、ピアノ屋の私に相談があり、一緒になって2004年までに100台のピアノを送ることが出来ました。

キューバは、カリブ海にある島で、アメリカのフロリダから150km位しか離れてなく、本州の半分くらいの面積です。

人口は1100万人位で約日本の10分の1位です。

2005年には招待を受けて行ったのですが驚くことに街中いたるところに1950年代くらいの古いアメ車のレトロなクラシックカーが走っていてよくまあ動いているなあという感じでした。



キューバ人は器用で何度も修理して直して乗っているそうです。

新車などは1台も見かけなかったです。

同じ社会主義国とは言っても兄弟を殺すようなどこかの国とは違い、平和で治安も良く、国民は医療、教育はすべての人が無料で受けられ食品も無料配給で月1人1500円位国から貰うそうです。色々な国でスポーツなどでお金をいっぱい稼いでも皆んな国に入るそうです。

皆んなが裕福ではないですが、困った様子もなく陽気で明るく、夕方くらいには、皆んなで集まって飲んで歌ってサルサを踊り夜遅くまでワイワイ楽しんでいます。

1961年からアメリカの国交断絶により、経済封鎖となり国としての財政は厳しいみたいです。でも殆どの方が楽器や歌や踊りの音楽好きで、その中でも私達が贈ったピアノで一生懸命練習し盲目ではありますが、ラウル フェルナンデス君がプロのピアニストとなり、2011年の東北大震災の時にその恩返しとして来日してチャリティーコンサートをして被災地の人を励ましてくださいました。

少しではありますが国際奉仕が出来たかなあと嬉しく思いました。詳しくは(キューバ菊地孝則)でヤフーで検索すればいまだに載っていると思います。

ご静聴ありがとうございました。

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

	卓話・行事	月日	卓話・行事
3月27日(月)	夜間例会 幸楽 18:00点鐘	4月10日(月)	会員卓話 三浦 直哉 会員
4月 3日(月)	自己紹介 伊東 真也 会員	4月16日(日)~17日(月)	親睦旅行 東京タワー、赤坂迎賓館